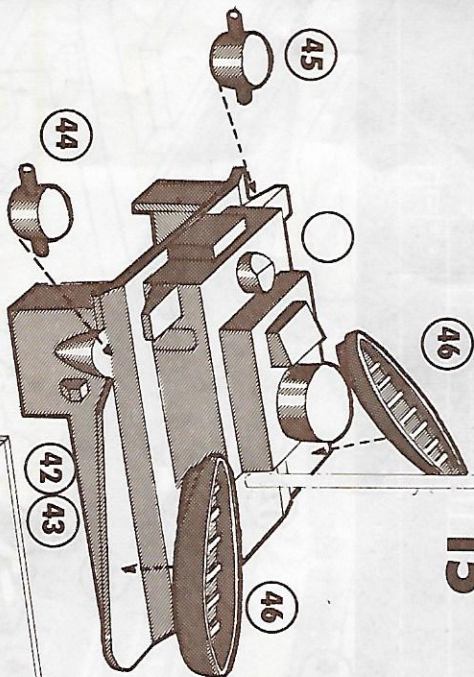


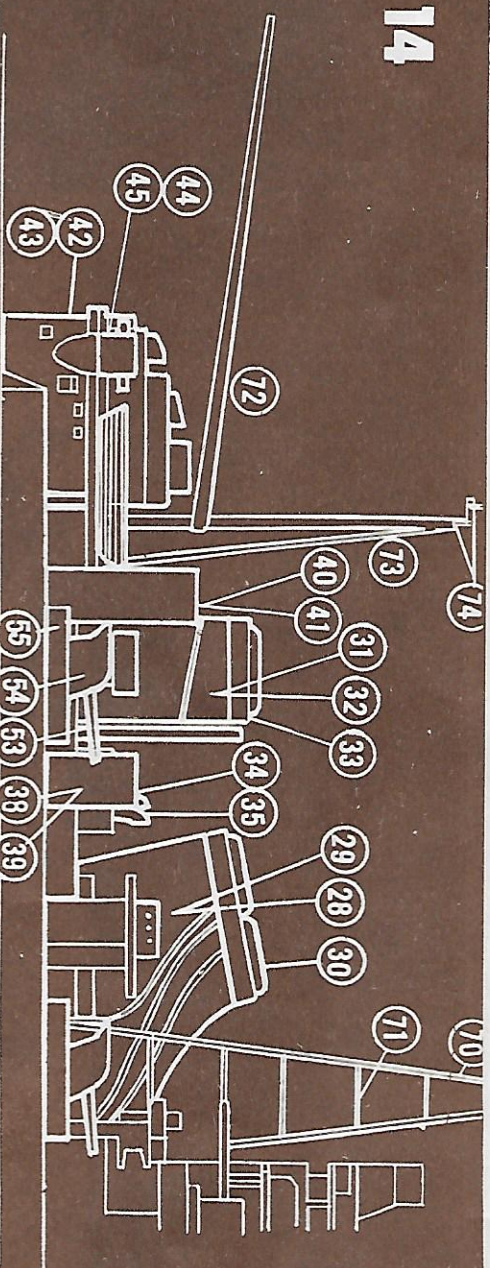
# 5 中央部組立

## 5 中央部組立

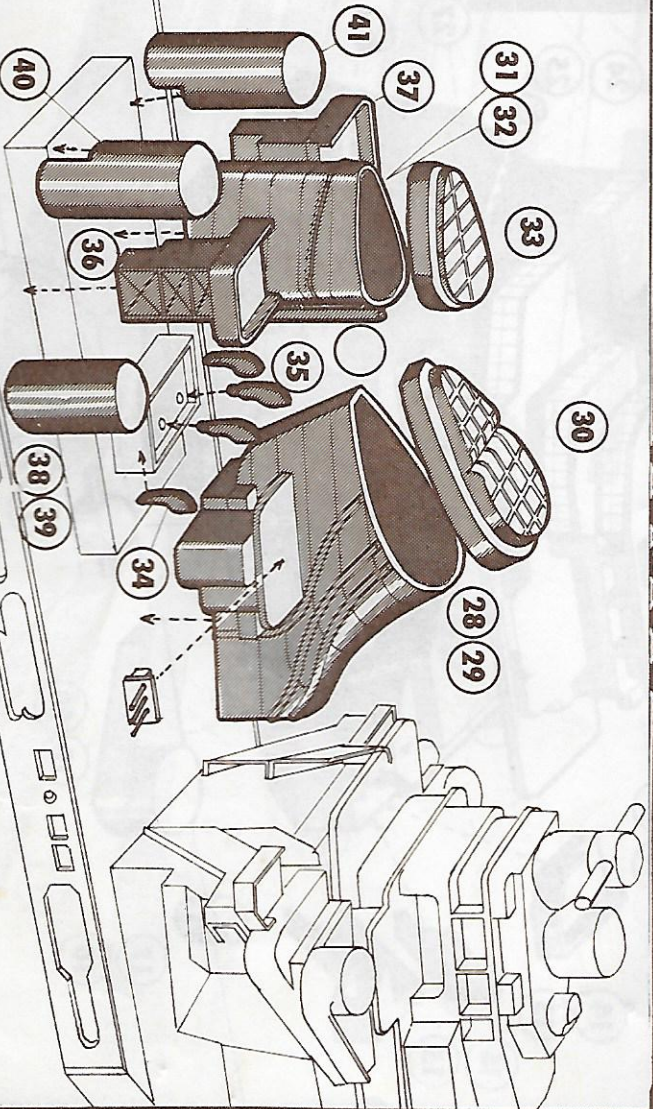
煙突前部(29)後部煙突(30)及び(33)の飛行機格納庫はそれぞれ左右すれのない様に接着します。  
 前部煙突には横線(36)が左右につきまます。  
 煙突の上部には、黒色の(30)アミ部を前後部、煙突にはめ込みます。  
 (34)はペンチレーターです。(35)は取り付部が平らになっていて横につきまます。  
 (35)は取付部は円筒です中側につきまます。  
 (36)-(41)は上部写真図(14図)を見てそれぞれの位置に取り付けて下さい。  
 飛行機格納庫上には、鼻距離(44)及び(45)を取り付けます。  
 尚この上部には、後部マストがつきます(19図)。



# 14



# 15



M図



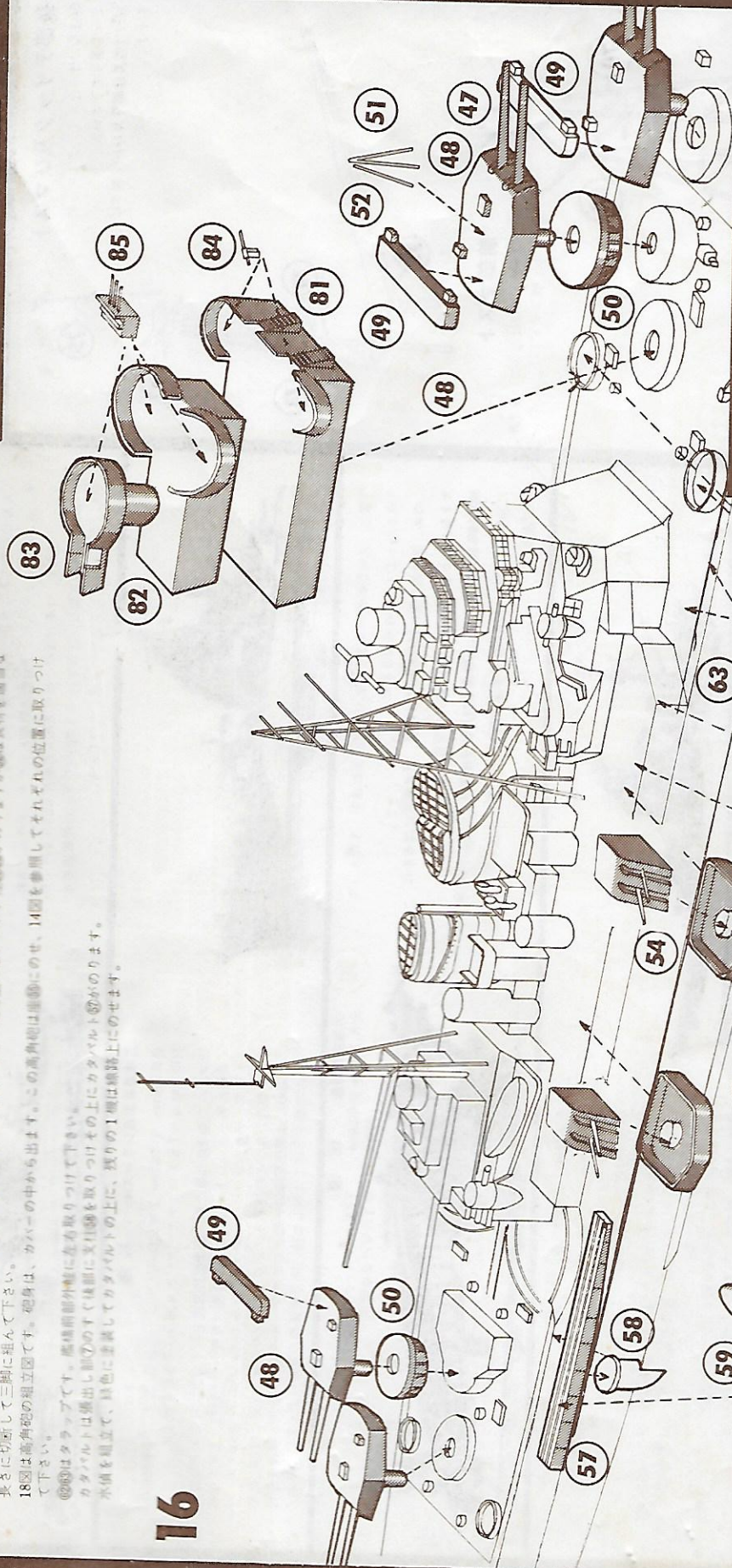
# 6 武装関係

# 6 武装関係

17図は主砲の組立て図です。砲身47を砲架49にはめ込んで接着して下さい。  
 1番、2番、4番砲塔上にはそれぞれ測距機48がのりします。  
 2番、4番砲塔の下部には回転部50をつけて下さい。尚この2番、4番の砲塔上にはアンテナ14(15)がのりします。アンテナは長さを調節して下さい。  
 18図は高角砲の組立て図です。砲身は、カバーの中から出します。この高角砲は車輪にのせ、14図を参照してそれぞれの位置に取り付けて下さい。

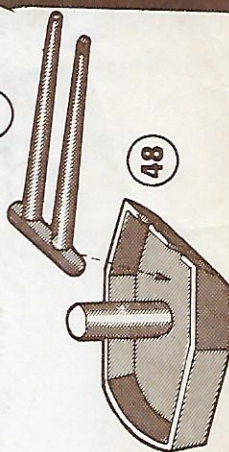
④はタラップです。艦体前部外輪に左右取り付けて下さい。  
 カタパルトは突出し部72のすぐ後面に支柱脚を取りつけその上にカタパルト④がのりします。  
 水筒を組立て、緑色に塗装してカタパルトの上に、既りの1層は橋梁上におけます。

16



17

主砲塔の組立



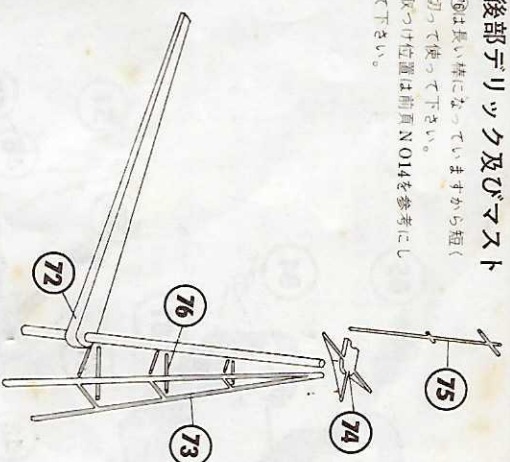
18



# 7 前後マストの作り方

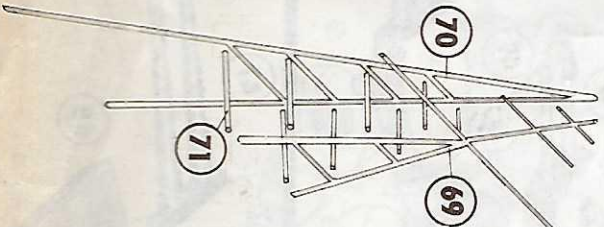
## 後部デッキ及びマスト

⑥は長い棒になっていまして短く切って使ってください。  
取っけ位置は前頁NO14を参考にしてください。



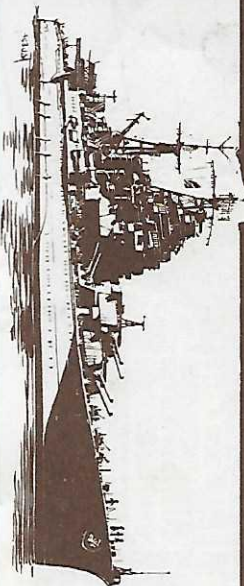
## 前部マスト

⑦は長い棒材になっていまして短く切ってください。



# TAMIYA MOKKEI

戦艦大和は、昭和12年11月呉工廠で起工され、昭和16年12月完成した秘密戦艦であり世界一の戦艦であった。  
第二次大戦に入るや大和は連合艦隊旗艦としてミッドウェイ海戦、ワリアナ沖海戦、比島沖海戦と戦役活躍した。昭和20年4月7日沖繩本島の米軍攻撃に向う途中延べ1,000機に及び戦艦戦艦の攻撃を受け、九州南西方海面で沈没したのである。



ゴールデン 大和  
全長 330mm、全巾58mm  
TKKワフチモーター No15  
単3乾電池2本使用 ¥ 300円

## 日本海軍重巡シリーズNo 1 鳥海

全長500mm 全巾60mm・2軸反転スクルー・船体色(赤、灰、黒) ¥ 800円  
利用市販品 TKKワフチモーター N・N・25及び単3乾電池4本

☆ワレー方面攻勢作戦に第一南遣艦隊旗艦として参加。(ミッドウェイ海戦) 第一太平洋艦隊には第8艦隊旗艦として参加。3隻の姉艦と協同して重巡アイゼンシュタイン同グライムズ同キヤンペラ及びワリアナ沖海戦に活躍した。その後第3次ソロモン、ワリアナ沖海戦に参加し戦艦航空母機の攻撃を受けて大破した後、味方駆逐艦の魚雷によって処分された。

## 大型航空母艦 信濃

全長 330mm、全巾58mm、TKKワフチモーター N15  
単3乾電池2本使用 ¥ 300円



## 日本重巡シリーズNo 3 妙高

全長 500mm、全巾60mm、TKKワフチモーター N・N・25  
単3乾電池4本使用  
10月中旬発売 ¥ 800円

妙高は我が国最初に設計された1,000トン級重巡であり、船体強度、複原性、速力共に良く当時、世界各国の一方トソ級重巡の間にあつて出色の艦であった。  
戦時にあつては、珊瑚海々々戦ミッドウェイ海戦、ワリアナ海戦と各地に転戦、終戦時迄生き残った駆逐艦である。



双門オート カタラソノエイト  
全巾80mm 全長 200mm  
TKKワフチモーター O13300  
単3乾電池2本使用  
¥ 250円

田宮模型総合カタログ御希望の方は〒201田圃町の上お申し込み下さい。  
静岡市小鹿9115 田宮模型教材社

